

奈良発！未来を創造するグローバル・リーダー育成プログラム

研究開発の背景

○SGHで明らかになった課題の改善
 ・教科間連携を発展させ指導改善すること。
 ・地域を舞台に自己の将来像と結び付け研究を深化させること。
 ・SGHのレガシーを一層活用すること。
課題研究を核にして、パワフルで創造的な次代の地域リーダーを育成する！

研究開発実施体制

(コンソーシアムの構成)

【コンソーシアム】(管理機関・実施校以外)
 ・地方行政(橿原市、奈良県)
 ・大学等(奈良教育大学)
 ・関係機関(UNWTO(国連政界観光機関)、ナラファミリー&フレンド(在日外国人支援NPO))
 ・地元企業(依頼中)

【地域協働学習実施支援員】
 国際教育、課題研究指導立案の経験者1名
 【海外交流アドバイザー】
 教育及び海外でのビジネス実務経験者1名

管理機関・実施校

令和元年度の目標／取組状況

※ [目標] ...下記の各項目
 ※ [取組状況] ...黒字は予定を越えた実施が、赤字は未達があったことを示す。いずれも () 内がその具体である。他は予定通りの実施。

- ①教科間連携と指導改善
 - ・「課題研究」に向けた教科間連携 (打合せ回数や内容等)
 - ・従来取組の指導改善 (ADコースの指導改善、研究発表会の改善等)
 - ・「総合的な探究の時間」部会の立ち上げ
- ②キャリアと接続した研究の深化
 - ・「課題研究」グランドデザインの策定
 - ・留学生の派遣、受入れ (フィリピンへの短期語学留学派遣等)
 - ・各種研修の実施
- ③SGHレガシーの活用
 - ・各種検定、コンテスト等への参加 (入賞者の増加、新規セミナーへの参加等)
 - ・国際理解教育、交流、海外研修等の取組 (新型コロナウイルス対応のため中止)
- ④事業全体の企画・進行
 - ・コンソーシアムの管理運営 (立ち上げ時期、協力体制の構築等)
 - ・業務分担、外部連携、
 - ・新カリキュラムへの対応

今年度事業のポイント！



全生徒を対象とした少人数指導による「課題研究」の計画



旧SGHの主要25取組のうち
23項目を継承・発展
3項目を新たに開始



発表及び外部指導者等による
指導機会の充実
外部コンテストでの入賞者数増

成果と課題

成果

- (1)従来取組の継承と発展
 - ・主要事業の着実な実施
 - ・コンテスト等入賞者数増
 - ・姉妹校提携など継承・発展
- (2)新規取組の実施
 - ・コンソーシアム、研究会開設
 - ・研修等の計画、実施
 - ・「課題研究」研究PTの運営とグランドデザイン策定
 - ・地域との新たな協力関係

課題

- (1)課題研究の実施
 - ・令和2年度開始予定
- (2)教育課程の作成
 - ・令和2年末までに完成予定
- (3)研修旅行の改善
 - ・専門委員会継承改善
- (4)実施体制の検討
 - ・コンソーシアムの充実
 - ・教科間連携の実践
 - ・進路、将来像の意識付け